

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

事業の概要

担当課長名 山名 剛

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬郡つぎ町半田	箇所名	長野(ながの)地すべり防止区域		
事業概要					
排水ボーリング工 L=960m、水路工 L=346m					
事業の目的・必要性					
当区域においては、町道擁壁の変状やクラックの発生など地すべり兆候が見受けられ、人家17戸及び県道小谷西端山線(550m)、町道(1,850m)などに被害を及ぼす恐れがあり、集落の孤立を防ぐために早期の対策が必要であった。このため、平成24年から地下水を排除する抑制工を実施した。					
総事業費		166百万円			
事業概要図・写真					
計画平面図					

事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費200百万円→変更全体事業費166百万円 計画工期H24～R1→実施工期H24～H30
	②事業の効果の発現状況	・事業実施後は地すべり運動が沈静化しており、地すべり発生の危険性を軽減できた。 ・人家や道路を保全したことにより、地域の防災力の向上に寄与した。
	③事業実施による環境の変化	・工事の進入路について、土地の改変が少ない工法を採用した。
	④社会経済情勢の変化	・土地利用や保全対象に変化は無い。 ・地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増えており、事業の必要性は確保されている。
	⑤課題と今後の事業への反映	・地下水を利用する地元住民と交渉する必要が生じた。今後の事業においても、事業に影響する関係者との調整を積極的に実施し、円滑な事業進捗を図る。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成24年	7.0	199	工事費、調査費	1,391	人家17戸、県道550m、町道1,850m
	完成時	平成30年	7.9	230	工事費、調査費	1,824	人家17戸、県道550m、町道1,850m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。